



日本木工機械展のキャッチアイテム

日本木工機械工業会
井本希孝理事長



視野を広げ 更に魅力ある展示会に

記者クラブ 新組織での第1回目となる木工機械展を一新、日本木工機械展/ウッド エコテック2013(木機展・ジャパン)とし、林業から家具・建具産業までの機械加工技術を網羅する展示会の実行委員長として各種提案し、2013年の開催を運営してきた。第2回の抱負は。

井本 まだ計画の段階ですが、基本線は「国産材加工の『すべて』を見せます」。木材加工産業、木工機械産業のこれからを考える時、広い見方は必要です。そこを目指して進んでいきたい。新規分野を少しでも拡大

井本理事長は日本木工機械記者クラブの会合に出席し、共同インタビューに応えた。下図はインタビュー時に配布したメモ(署名は自筆)

するため、新しい構造用製品や環境関連での木材利用など関係産業への説明に努めています。

木材サミットを初め森林・木材産業は今ものすごく大きな枠組みで意見を交換していて、次代のビジョンに向かい進化を続けている。新しいニーズに応える技術の提供を通して木材産業の成長への協調、参画をめざしています。

1.理事長としての基本構想

活力のある木材産業を支える技術の提供

2.重点課題

- a.業界活性化の実現に向けた輪の広がりを目指す
- b.工業会の組織・財政基盤強化
- c.木材産業振興の為の支援体制作り
- d.自治体・国とのパイプの強化

3.行動指針

- a.会員との双方向コミュニケーションの充実、拡大
- b.木材産業との連携強化
- c.事務局の体制強化

一般社団法人日本木工機械工業会

井本希孝

日本木工機械工業会

2014年度新体制

(一社)日本木工機械工業会は5月22日に開催した定時総会で役員改選を行い、新理事長に井本希孝氏が就任した。新役員は次の通り。

▽理事長=井本希孝(飯田工業(株)代表取締役社長)

▽副理事長=菊川厚(キクカワエンタープライズ(株)代表取締役社長)、副理事長廣田哲夫(株ヒロタ代表取締役社長)、渡邊将人(兼房(株)代表取締役社長)

▽理事=井上嗣夫(井上電設(株)代表取締役社長)、神谷慎二(株太平

製作所代表取締役社長)、田中秀幸(株大井製作所専務取締役)、橋本基典(橋本電機工業(株)代表取締役社長)、長谷川英生(株名南製作所取締役)、松井忠彦(アミテック(株)代表取締役社長)、宮川嘉朗(宮川工機(株)代表取締役会長)、椋木逸生(山本ピニター(株)代表取締役副社長)、望月清史(株丸仲鐵工所代表取締役社長)、竹平美智子((一社)日本木工機械工業会)

▽監事=西藤晋吉(天龍製鋸(株)代表取締役社長)、松村修治(株平安コーポレーション執行役員)

記者クラブ 組織運営に関しては。

井本 財政基盤の強化が重要で。統合前は中部地域を主にした団体だったが、統合後は全国組織で会員数も57社。展示会主催の収益が財政の基盤です。出展規模を拡大し、小間料収入を安定、財政基盤を確立していかなければ、組織的に成り立っていかない。「展示会に出したら何かある」という魅力を企画していかなければなりません。また、会員双方向のコミュニケーションの充実を図りたい。全国どこからでも「みんなが参加できる体制」を作っていく必要があります。